

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|--------------|
| ○事業所名 | どれみだんけ川崎 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 1月 6日 | | 2026年 2月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 32 | (回答者数) 28 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 1月 6日 | | 2026年 2月 20日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ピアノや楽器を使い、抑揚をつけた言葉を歌う【ことば音楽療法】取り入れている | 名詞・動詞やカレンダーの読み方、言葉の使い方などを歌の歌詞のように伝え、それをテンプレートとして自分の言葉に置き換える練習ができる | 更に発展させ伝えていけるように、抑揚をつけた言葉の発声の練習を従業員間でも練習を続ける |
| 2 | 1対1の個別レッスンを通して、一人一人のニーズに合ったプログラムを提供できる | アセスメントや利用者様・保護者様が感じている不安等を聞き取り、ご要望があれば他事業所や他機関とも積極的に連携を取り、支援計画やプログラムに落とし込んでいけるよう努めています。 | アセスメントスキルの向上を目指し、より充実した支援の提供を図る |
| 3 | 同じ法人での心理研修や言語聴覚士の研修などで、より広い視野をもって療育に臨める | 専門分野からの研修で自己研鑽にも取り組んでいる | 研修で培った内容を療育で活かしていけるように社内でも共有していく |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | すべての従業員がすべての児童と関わるのが難しい | 曜日・時間によって、来所する児童・出勤する従業員が変わることがあり、顔を合わせる頻度に差が出てしまう | その日の業務日誌や個別のプログラムにも伝達事項を記入する |
| 2 | ホームページがあまり周知・活用されていない | ホームページからも見学等の問い合わせができるが、まだあまり周知・活用されていない | 先に周知されたSNSを活用したり、他事業所との交流も積極的に行っていくことで、広報活動に努めたい |
| 3 | すべての児童に対して避難訓練などを行うのが難しい。 | 曜日、時間によって来所する児童が変わるので、全児童の避難訓練は難しい。説明やSNSでの発信はしているが万全ではない。 | 避難訓練を予定していた週にお休みをしてしまった場合でも、プリント等で緊急避難場所を周知したり、日程変更等にも対応していきたい。 |